

特性概要

1. 主茎長は「エリモショウズ」より長いが、主茎節数は同程度で、上位節間が伸長する。分枝数は同程度。
2. 小葉の形は下位葉，上位葉とも円葉，熟莢色は褐，莢の長さは中，莢の幅は「エリモショウズ」より広い。
3. 「エリモショウズ」と比較して，開花期は同等からわずかに遅い。成熟期はやや遅い。
4. 莢数は「エリモショウズ」に比べやや少なく，一莢内胚珠数，一莢内粒数は同等，百粒重は重い。子実の形は「エリモショウズ」と比較するとやや短い。子実収量は多い。
5. 落葉病抵抗性，萎凋病抵抗性は強，茎疫病抵抗性はかなり強，低温抵抗性は「エリモショウズ」の中に対し，やや弱である。倒伏抵抗性は「エリモショウズ」のやや強に対し，中である。
6. 種皮の地色は「エリモショウズ」に比べ淡く，アン

の色調も「エリモショウズ」より明るい。外観品質は，十勝農試では「エリモショウズ」に劣るが，普及地帯では同品種と同等から優る。

7. 種皮歩合は「エリモショウズ」の中に対して低であり，アン粒子径は「エリモショウズ」に比べやや大きい。

8. 加工製品の試作試験では，同産地の「エリモショウズ」と比較して同等からやや優る評価が多い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は，道央・道南における早・中生種栽培地帯，中生種栽培地帯，中・晩生種栽培地帯およびこれに準ずる地帯である。

栽培にあたっては，落葉病・茎疫病（レース1，3）・萎凋病に抵抗性を持つが，適正な輪作体系を守る必要がある。

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本/株)	莢 数 (莢/株)		子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	きたあすか	7.31	9.27	96	3.9	48	3.0	427	110	18.8	4上	2006～ 2009
	エリモショウズ	7.30	9.24	73	3.5	57	2.1	389	100	14.6	3中	
	しゅまり	7.30	9.23	77	4.1	50	1.5	366	94	15.0	3下	
中央農試	きたあすか	7.27	9.7	72	4.0	45	1.7	319	109	15.9	2下	2006～ 2009
	エリモショウズ	7.26	9.8	64	4.4	47	2.4	293	100	13.3	3中	
	しゅまり	7.27	9.7	66	4.7	46	1.9	273	93	12.7	3中	
上川農試	きたあすか	7.23	9.6	83	3.6	47	2.2	351	108	15.1	3上	2006～ 2009
	エリモショウズ	7.23	9.6	62	4.3	53	2.1	326	100	12.3	3上	
	しゅまり	7.23	9.7	66	4.8	50	2.0	327	100	11.8	3上	
道南農試	きたあすか	7.30	9.10	57	2.4	43	0.7	331	107	16.3	3中	2006～ 2009
	エリモショウズ	7.29	9.10	50	3.1	50	0.4	308	100	13.1	2下	
	しゅまり	7.29	9.9	54	3.4	46	0.4	294	95	12.5	3上	

注1) 播種期は，十勝農試：5月24日，中央農試：5月26日，上川農試：5月25日，道南農試：5月29日。

2) 栽植密度：畦幅60cm，株間20cm，2本立。

3) 倒伏程度：0(無)，0.5(微)，1(少)，2(中)，3(多)，4(甚)

参照 1) 北海道農政部編，平成22年普及奨励ならびに指導参考事項，1-4(2010)

5. 菜豆

- (1) **福寿金時**（系統名 十育B78号）2010年
登録番号：（北海道）菜豆北海道第30号
（種苗法）第21798号

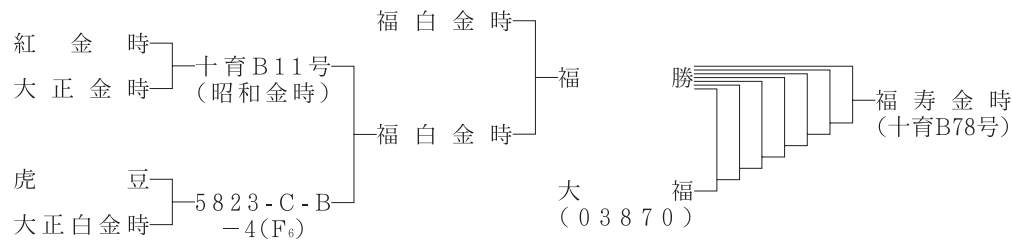
セールスポイント

インゲンマメ黄化病抵抗性“極強”であり，本病に対する薬剤防除は不要である。成熟期，収量性および粒大等は，金時類品種「福勝」とほぼ同等であり，加工適性も同程度に優れる。

来歴 本品種は，インゲンマメ黄化病（以後，“黄化病”と略す）に抵抗性を持ち，多収，大粒で良質の金時類品種育成を目標に，2001年に北海道立十勝農業試験場において，多収，大粒で良質の金時類品種「福勝」を反復親，黄化病抵抗性遺伝子（*Sdvy-1*）を有する「大福」を1回親として，DNAマーカー選抜による連続6回の戻し交配を行い，選抜，固定を図り育成した品種である。なお，DNAマーカー選抜は，北海道立中央農業試験場（以後「中央農試」と略す）で行った。2006年から「十

系B392号」, 2007年からは「十育B78号」の系統名で各種試験を行い, 2010年に優良品種となった。なお, 本品

種の系譜は次のとおりである。



注1) 十育番号についたアルファベット“B”は金時類であることを示す。
 注2) 大福(03870):()内は中央農試遺伝資源部の登録番号。

特性概要

1. 伸育性と草型は“有限わい性”である。草丈は「福勝」と同等で, 「大正金時」よりやや高いが, 両品種と同じ“中”に属する。
2. 胚軸の色は“淡赤紫”で, 花色は“淡赤紫”, 若莢の地色は“緑”, 若莢の斑紋の色および若莢の斑紋の種類はいずれも“なし”で, 両品種と同じである。
3. 子実の形は“楕円体”で, 大きさは, 「大正金時」の“やや大”に対し, 「福勝」と同様“大”に属するが, わずかに大きい。種皮の地色は両品種よりやや淡い色調であるが同じ“赤紫”で, 種皮の斑紋の種類および種皮の環色はいずれも“なし”である。
4. 開花期は両品種と同じ“早”で, 成熟期は「大正金時」の“かなり早”に対し, 「福勝」と同じ“早”である。
5. 子実収量は「大正金時」の“やや少”に対し, 「福勝」と同じ“中”である。耐倒伏性は両品種と同じ“中”で, 成熟期における葉落ち良否は「大正金時」の“やや不良”に対し, 「福勝」と同じ“やや良”で

ある。

6. 黄化病抵抗性は, 「福勝」「大正金時」の“弱”に対し, 全く罹病しない“極強”である。炭そ病抵抗性は Race38に対し“有”, Race81に対し“有”, Race7に対し“無”で, いずれも「福勝」「大正金時」と同様である。
7. 子実の外観品質は, 「福勝」「大正金時」と同等である。煮豆の色は, 「福勝」よりやや薄い色調である。煮豆・甘納豆加工適性は, 「福勝」と同程度に優れる。

栽培適地と奨励態度

全道のいんげんまめ作付け地帯で「福勝」に置き換えて栽培する。栽培上の注意は, 次のとおりである。①「福勝」と同様に大粒であるので, 収穫・乾燥条件に留意し, 損傷粒の発生を防ぐ。②極端な多肥または疎植栽培は, 「福勝」と同様に茎折れの発生が多くなることが懸念されるため, 避ける。③黄化病に対する防除は不要であるが, その他の病害には従来の品種と同様に罹病するため, 適切な防除に努める。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	葉 落 良 否	草 丈 (cm)	莢 数 (/株)	10 a 当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
								子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	福寿金時	7.13	9.10	0.5	2.2	56	16.5	331	103	91.0	2 下	2007～2009
	福 勝	7.14	9.10	0.6	1.9	55	16.5	322	100	88.8	2 下	
	大正金時	7.12	9. 6	0.7	2.4	53	17.2	305	95	73.5	2 下	
北見農試	福寿金時	7.13	9.15	1.4	3.8	52	17.3	359	101	93.7	3 上	2007～2009
	福 勝	7.13	9.14	1.5	3.7	50	17.9	357	100	92.8	3 上	
	大正金時	7.11	9. 9	1.5	4.0	48	19.9	340	95	75.5	3 下	

注1) 播種期は, 十勝農試: 5月27日, 北見農試: 5月23日。
 2) 栽植密度: 畦幅60cm, 株間20cm, 2本立。
 3) 倒伏程度: 0(無)～4(甚), 葉落良否: 1(良)～5(不良)。

参照 1) 北海道農政部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 5-8(2010)。